

十字軍史・十字軍国家史・聖地巡礼史

研究者プロフィール

- ・文学部 歴史学科 教授 櫻井康人
- ・専門分野：ヨーロッパ中世史
- ・研究分野：十字軍史・十字軍国家史・聖地巡礼史
- ・会：西洋中世学会・東北史学会など
- ・主な著所属学書
 - ・『図説 十字軍（ふくろうの本／ヨーロッパの歴史）』河出書房新社、2019年。
 - ・『十字軍国家の研究―エルサレム王国の構造―』名古屋大学出版会、2020年。
 - ・『十字軍国家』筑摩書房、2023年。

研究内容

・十字軍史に関しては教皇庁の文書の分析から十字軍の運用の、十字軍国家史に関しては証書史料の分析からその社会構造の、聖地巡礼史に関しては聖地巡礼記の分析から十字軍理念の実態と変容の解明を目指して研究しています。

かつて教皇庁が置かれていたサン・ジョヴェンニ・ラテラーノ大聖堂（ローマ）



関連キーワード

- ・十字軍、十字軍国家、エルサレム王国、聖地巡礼、ヨーロッパ中世、教皇

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

・聖地巡礼史研究の一環として、東北地方のクリシタンの歴史にも関心を持っています。この点で何かお役に立てるかもしれません。

1618年に日本人初のエルサレム巡礼を行ったペトロ岐部カスイの像（大分県岐部）。帰国後は潜伏を余儀なくされたが、仙台藩水沢で捕縛され、小伝馬町にて処刑された。



研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122